

2019年度

一般社団法人

三重県介護支援専門員協会総会



2019年6月8日(土)

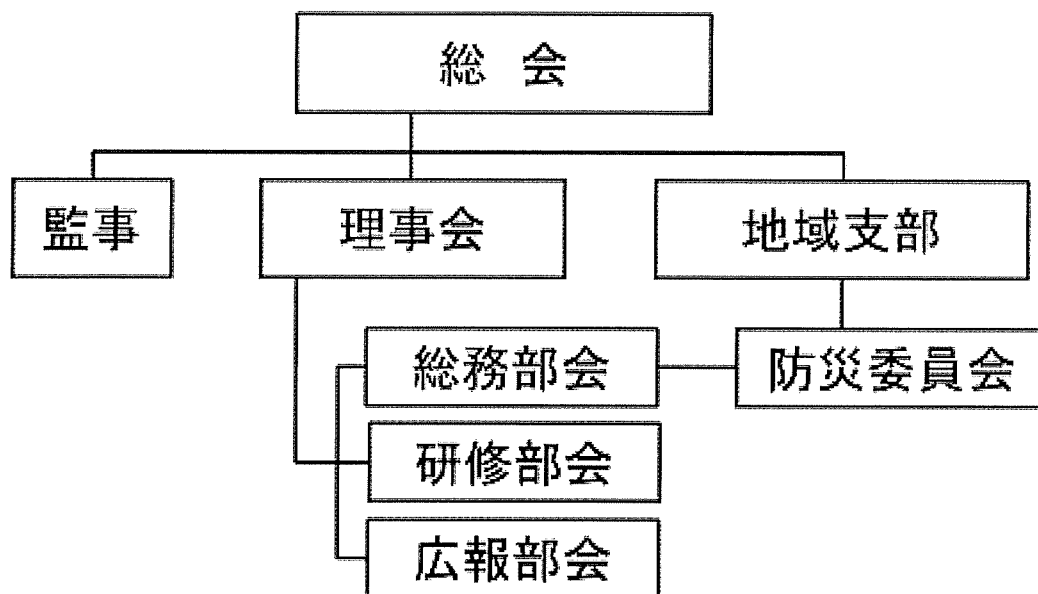
三重県社会福祉会館 講堂

三重県介護支援専門員協会

2019年度 総会 次第

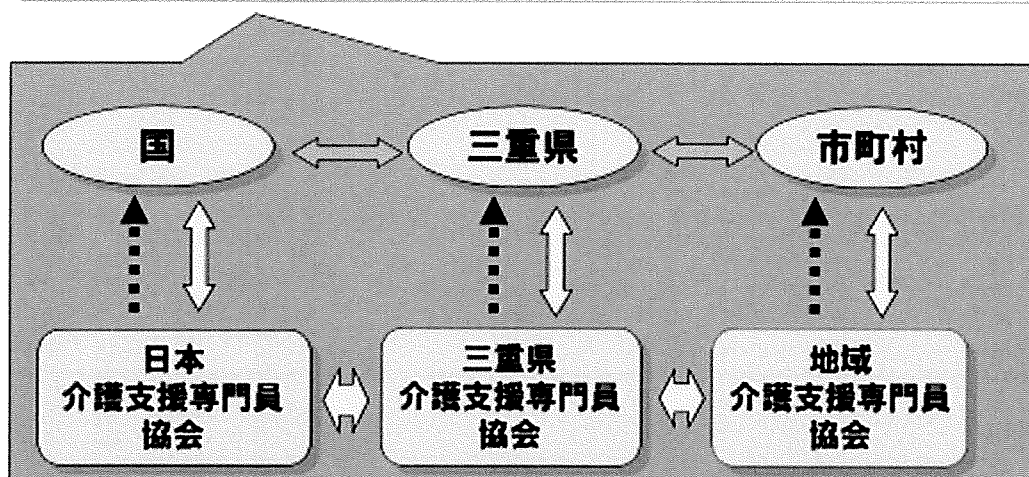
1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議長選出
5. 書記及び議事録署名人の任命
6. 第1号議案
2018年度事業報告
7. 第2号議案
2018年度収支決算報告及び会計監査報告
8. 第3号議案
2019年度事業計画案
9. 第4号議案
2019年度収支予算案
10. 第5号議案
役員改選について
11. 報告事項
12. その他
13. 閉会の挨拶
14. 閉会の辞

一般社団法人三重県介護支援専門員協会 組織図



介護支援専門員協会の三層構造

市レベルで解決しがたい課題等を、堅固で緊密な連携をもつ三層構造を運用して解決する。



意見を言える職能団体になるために、地域のケアマネ協会は三重県協会を介し三重県へ、また、三重県協会は日本協会を介して国へ、それぞれ上層機関へ申しなければ、なかなか解決しない。

2018年度（平成30年度）事業報告

1 2018年度活動方針評価

活動方針

- 1 平成30年度末に会費を納入している会員の数を1,200名以上確保する。そのために、引き続き各種研修会、特に現任者が受講する研修の機会に勧誘活動を行う。
→平成30年度末で1,184名（うち1名は和歌山県協会との重複）と目標には16名届かなかった。
- 2 平成30年度は介護報酬改定と診療報酬改定が重なる「同時改定」の年であり、また、次期改定に向けた検証開始となる極めて重要な年でもある。これらの報酬改定についての情報発信をはじめ、制度に対応する研修会も企画する予定である。また、他の職能団体との連携を図りながら研修会を企画する予定である。平成30年度も月1回程度の頻度で年度内に10回以上の研修会を企画・実施する予定である。詳細は「3研修事業」の通りである。
→介護報酬改定については、4月14日に研修会を開催し情報提供等を行った。また、各支部が主催する報酬改定関係の研修会の講師の派遣についても協力した。研修会全体としては合計14回開催し、その詳細は後述の「3研修事業」の通りである。
- 3 広報誌・ホームページ・リーフレット等を活用し、当協会ならびに地域支部の存在意義や活動内容を紹介することで会員間の情報共有を行う。さらに新規入会に向け、より多くの介護支援専門員に活動に対する認識や興味を持ってもらい、会員数を増やすことができるよう広報活動を行なう。詳細は「4広報事業」の通りである。
→年に2回の広報誌の発行をはじめ、事業計画通りの広報事業を実施した。その詳細は後述の「4広報事業」の通りである。
- 4 支部活動の推進と連携をより一層進める。また、支部運営に課題を抱える支部から支援を求められた場合には必要な支援を行う。支援に際しては県協会が中心となり、必要に応じて隣接する支部との連携を促進する。また、各支部と市町との連携についても必要に応じ支援を行う。
→支部の自主性を尊重しながら、年間2回の理事・支部長会を開催するなどして、各支部間の情報共有や連携促進を行った。
- 5 意見交換会や各種研修会等を通じ、三重県の関係部署及び関係諸団体との連携を深める。特に、三重県長寿介護課及び福祉監査課とは継続的に意見交換の場を持ち、一層の連携を図る。これにより、行政及び関係諸団体に当協会県下の介護支援専門員の状況についての理解促進を図る。
→県内の歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会、作業療法士会と協働した研修会の開催を行った。三重県長寿介護課とは法定研修の受託についてなど複数回にわたり協議の場をもったが、福祉監査課とは、居宅介護支援の指導権限の市町への移譲もあり、そのような場を持つことができなかった。

- 6 三重県、三重県社会福祉協議会と連携し、介護支援専門員資質向上研修専門研修課程Ⅰ・Ⅱの一部を受託する。それにより、職能団体としての責務を果たし、さらに、当協会に未加入の介護支援専門員にも当協会の存在意義について理解を促し、入会を促進する。なお、当協会に入会することの直接的なメリットとして主任介護支援専門員の資格更新に際しての研修会参加要件や特定事業所加算要件の事例検討等で有利になることも意識してPRを行う。
→三重県社協からの再委託の形で、介護支援専門員資質向上研修専門研修課程Ⅰ・Ⅱの講義・演習一体型課目への講師の派遣を行った。研修会の中で、ケアマネジャーのネットワークづくりなどに対する協会の存在意義についても説明を行った。
- 7 三重県に対して、スーパーバイザー派遣事業の補助金申請を進める。ただし、本年度からは補助金の補助率が変わるため、申請に際しては慎重に検討を行う。
→スーパーバイザー派遣事業（ケアマネジャー総合相談事業）については、4年目において、基金の申請時の目標派遣数25事業所を初めて達成した。その詳細は「5総務事業」の通りである。
- 8 防災部会の設置に向けての体制づくりを進める。そのために、県内各地の防災に関する情報（防災計画や防災訓練、防災に関する情報連携、協力体制、福祉避難所等）の収集を行う。同時に、当協会防災部会設置のための人材の育成も行い、県内で災害が発生した際に協会として対応ができる仕組みを数年以内に整えることを目指す。将来的には県内のみならず、他都道府県で災害が発生した際に当協会として人員を派遣できることも目指す。
→防災委員会を設置して年間2回開催をし、災害時における支援体制のあり方等について協議を行った。また、研修事業の中で、12月に災害支援ケアマネジャー養成研修を合わせて開催し、78名の修了者があった。

2 会議

1 総会

平成30年6月9日（土）

三重県社会福祉会館講堂

平成29年度年度事業・収支決算報告及び監査報告について

平成30年度事業計画・収支予算案について

監事選任について

記念講演 制度改正と報酬改定を踏まえた介護支援専門員のあり方

講師： 七種 秀樹氏（一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長）

2 理事会及び理事・支部長会

第1回理事会 平成30年4月17日（火）

平成30年度総会について

各部会事業 事業報告

各部会事業 事業計画

会費の回収状況・会員の動向について

その他

第1回理事・支部長会 平成30年5月15日（火）

事業報告・計画案について

収支決算・予算案について

各支部の活動状況について

会費の回収状況・会員の動向について

支部助成金・研修補助金について

ケアプラン点検アドバイザーについて

その他

第2回理事会 平成30年7月17日（火）

各部会の進捗状況について

日本協会の動向について

専門ⅠⅡ受託について

会費の回収状況・会員の動向について

平成30年度総会質問事項への対応について

その他

第2回理事・支部長会 平成30年9月18日（火）

日本協会の動向について

各支部の活動状況について

各部会事業の進捗状況について

理事の選出について

支部設置規程について

会費の回収状況と会員の動向について

その他

第3回理事会 平成30年11月13日（火）

ケアマネ総合相談 スーパーバイザー派遣事業について

東海ブロック会議について

各部会事業の進捗状況について

会費の回収状況と会員の動向について

その他

第4回理事会 平成31年1月15日（火）

各部会事業の進捗状況について

専門研修ⅠⅡ委託について

役員改選について

2019年度 記念講演について

会費の回収状況・会員の動向について

その他

第5回理事会 平成31年3月12日（火）

2019年度総会について

各部会事業の進捗状況について

会費の回収状況・会員の動向について

登記について

四日市市介護保険認定調査業務の受託について

パート就業規則の制定及び資質向上研修事務担当募集について

その他

3 正副会長及び部会担当者会

研修部会 2回

広報部会 4回

総務部会 3回

正副会長会 8回

※各部会上記以外にEメールを使って打ち合わせを行っている。

4 各種会議・委員会への出席及び関係機関との連携

主に会長出席等

平成30年

4月18日	大台町値域包括支援センター「介護保険制度改正研修会」講師
4月22日	南勢志摩支部「介護保険制度改正研修会」講師
5月13日	三重県薬剤師会「健康サポート薬局研修」講師
5月17日	名張市地域包括支援センター「介護保険制度改正研修会」講師
6月20日	三重県社会福祉協議会評議委員会
6月30日	日本介護支援専門員協会総会
7月13日	日本介護支援専門員協会都道府県支部長会
8月20日	三重県地域医療介護総合確保懇話会
8月27日	三重県介護給付費適正化事業（ケアプランチェック）川越町
8月29日	三重県在宅医療推進懇話会
10月9日	日本介護支援専門員協会東海ブロック会議
10月15日	三重県介護給付費適正化事業（ケアプランチェック）川越町
10月16日	三重県社会福祉審議会高齢者専門分科会
10月23日	三重県介護給付費適正化事業（ケアプランチェック）川越町
10月31日	三重県社会福祉大会
12月12日	三重県在宅医療推進懇話会
12月17日	伊勢市介護給付費適正化事業研修 講師
12月18日	三重県社会福祉協議会評議委員会
12月19日	川越町地域包括支援センター研修 講師
12月25日	介護支援専門員研修企画検討委員会（実務研修）

平成31年

1月20日	日本介護支援専門員協会東海ブロック研修
2月4日	三重県脳卒中医療福祉連携懇話会
2月15日	日本介護支援専門員協会都道府県支部長会議
3月6日	災害時における福祉支援ネットワーク協議会
3月11日	三重県脳卒中医療福祉連携懇話会リハビリ部会
3月11日	介護支援専門員研修企画検討委員会

- 3月13日 三重県地域医療介護総合確保懇話会
 3月14日 三重県在宅医療推進懇話会
 3月18日 介護支援専門員資質向上研修事業業務委託企画コンペ
 3月26日 三重県社会福祉協議会評議委員会

3 研修事業

第1回研修会 平成30年 4月14日(土) 13時30分～16時00分
 三重県人権センター 多目的ホール 311名参加

テーマ：『平成30年度 介護報酬改定の概要』
 (介護支援専門員に係る制度改正・報酬改定の伝達)
 (居宅介護支援事業所 管理者研修の伝達)

講師：奥田 隆利 氏(当協会会長)
 倉田 理 氏(当協会副会長)

第2回研修会 平成30年 4月21日(土) 13時30分～16時40分
 三重県総合文化センター 生涯学習棟2階 視聴覚室 59名参加

テーマ：『職業倫理・法の遵守・個人情報保護』
 (ケアマネジャーのベーシック講座【初心者向け】)

講師：福田 雅文 氏(当協会理事)

第3回研修会 平成30年 6月 2日(土) 13時30分～16時40分
 三重県社会福祉会館 3階講堂 68名参加

テーマ：『リハビリ用語の基礎知識』
 (情報共有・多職種連携のために)

講師：医療法人 松徳会 花の丘病院 リハビリテーション科
 理学療法士 木村 圭佑 氏
 社会福祉法人 あけあい会 介護老人保健施設 やまゆりの里
 作業療法士 山本 泰雄 氏

共催：一般社団法人 三重県理学療法士会
 一般社団法人 三重県作業療法士会

第4回研修会 平成30年 7月14日(土) 10時00分～16時00分
 三重県人権センター 多目的ホール 151名参加

テーマ：『阿部充宏と考える～30年改正とケアマネジャーの質～』
 (質の時代の到来)

(阿部 充宏 先生の平成30年度介護報酬改定の解説と対応)

講師：特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会 相談役
 合同会社 介護の未来 代表 阿部 充宏 氏

- 第5回研修会 平成30年 7月29日(日) 台風に伴い延期
三重県総合文化センター 生涯学習棟2階 視聴覚室
- 第5回研修会 平成30年12月 8日(土) 13時30分～16時40分
三重県社会福祉会館 3階講堂 78名参加
テーマ：『プログレス記録(SOAPで記録を書くということ)』
(記録に必要な情報収集の視点と方法に焦点をあてて)
講師：四日市看護医療大学 地域看護学 多次 淳一郎 氏
- 第6回研修会 平成30年 8月25日(土) 10時00分～16時00分
三重県総合文化センター セミナー室A 53名参加
テーマ：『施設ケアマネジメント研修会』
講師：山田 剛 氏(当協会理事)
小川 竜司 氏(当協会副会長)
- 第7回研修会 平成30年 9月 8日(土) 13時30分～16時40分
津市勤労者福祉センター(サン・ワーク津) 2階 大会議室 136名参加
テーマ：『ケアプラン点検』
講師：公益社団法人 京都府介護支援専門員会
一般財団法人 仁風会 嵯峨野病院 在宅事業部長 川添 チエミ 氏
- 第8回研修会 平成30年10月21日(日) 10時00分～12時00分
三重県総合文化センター 生涯学習棟2階 視聴覚室 85名参加
テーマ：『脳卒中予防、脳卒中リハビリ、地域連携について』
講師：ヨナハ総合病院 脳外科 今村 暢希 氏
- 第9回研修会 平成30年11月 4日(日) 13時30分～16時40分
三重県社会福祉会館 3階講堂 72名参加
テーマ：『高齢者に関わる薬の基礎知識 その2』
講師：一般社団法人 三重県薬剤師会 薬局機能推進委員会 辻 由紀子 氏
一般社団法人 三重県薬剤師会 薬局機能推進委員会 平岡 伸五 氏
後援：一般社団法人 三重県薬剤師会
- 第10回研修会 平成30年12月15日(土) 10時00分～16時00分
三重県社会福祉会館 3階講堂 104名参加
テーマ：『災害時ケアマネジメント研修』
(大規模災害時の介護支援専門員の役割と備え・災害対策机上訓練)
講師：一般社団法人 日本介護支援専門員協会 災害対策特別委員会
副委員長 林 隆夫 氏
- 第11回研修会 平成31年 1月13日(日) 13時30分～16時30分
三重県社会福祉会館 3階講堂 83名参加
テーマ：『グリーンケア研修会』
講師：上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻
上智大学グリーンケア研究所教育担当 副所長 教授 伊藤 高章 氏

第12回研修会 平成31年 2月24日(日) 13時30分～16時40分
三重県総合文化センター 生涯学習センター2階 視聴覚室 37名参加
テーマ：『みんなで取り組む働き方改革』

(働き方、人材流出防止、ハラスメント防止) (社会保障の基礎知識)

講師：山地EAP社会保険労務士事務所 山地 雅子 氏

(社会保険労務士・社会福祉士・産業カウンセラー)

第13回研修会 平成31年 3月 3日(日) 13時30分～16時40分
三重県社会福祉会館 3階講堂 49名参加

テーマ：『高齢者の歯科医療サービス利用』

講師：公益社団法人 三重県歯科医師会 副会長 羽根 司人 氏

はね歯科医院 歯科医師

第14回研修会 平成31年 3月24日(日) 13時30分～16時30分
三重県総合文化センター 生涯学習センター2階 視聴覚室 90名参加

テーマ：『臨床検査データの読み方』

(基準範囲と健診時のスクリーニング検査を中心に)

講師：鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 学部長 森下 芳孝 氏

4 広報事業

広報誌「みえケアマネ通信」をVol.21(9月11日) Vol.22(3月18日)に年2回発刊した。Vol.21では総会報告及び東海ブロック研修会in愛知の開催日をいち早く周知した。見る側の立場に立った情報提供を工夫するという目標に沿って、Vol.22では災害支援ケアマネジャー養成研修会報告として大きく取り上げた。また新たな試みとして、支部だよりをインタビュー形式にし、各支部に活動内容や好評だった研修会の紹介、ご当地ならではのおすすめグルメを紹介し、広報誌をより身近なものとした。

5 総務事業

資質向上研修について、専門研修Ⅰについては、県社協からの業務委託により、4コースすべてにおいて、合計16日分(のべ19人)の講師を派遣した。専門研修Ⅱについては、同様に県社協からの業務委託により、11コースすべてにおいて、合計55日分(のべ58人)の講師を派遣した。

スーパーバイザー派遣事業(ケアマネジャー総合相談事業)については、事業を開始して4年目の中で、県内の居宅介護支援事業所、介護保険施設と地域包括支援センターに2回にわたって事業の案内を郵送し周知を図った。派遣依頼があった事業所は予算枠一杯の合計25事業所(居宅15、介護保険施設5、その他5)になり、それに対して、のべ50名の派遣を行った。

防災に対する取り組みとして、防災委員会での協議の場づくりの他、支部が主催する防災についての研修会に災害支援ケアマネジャーを派遣して、開催支援を行った。

第2号議案

2018年度（平成30年度）収支決算報告及び会計監査報告

正味財産増減計算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

	当期金額		前期金額		増減額		摘要
I 正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 入会金収入		142,000		134,000		8,000	
正会員入会金収入	142,000		134,000		8,000		新規入会(1,000円×142名)
賛助会員入会金収入	0		0				
② 受取会費		10,235,000		9,960,000		275,000	
正会員受取会費	10,155,000		9,840,000		315,000		正会員(8,000円×1,269名,3,000円×1名)
賛助会員受取会費	80,000		120,000		-40,000		団体賛助会員(40,000円×2団体)
③ 事業収入							
研修事業収入		1,528,900		1,245,605		283,295	
研修会収入	1,528,900		1,245,605		283,295		研修会(14回)
広告料収入					0		
協賛金収入					0		
スーパーバイザー収入	75,000	75,000	0	0	75,000		事務所負担金(3,000円×25事業所)
受託費収入		3,300,000		3,000,000		300,000	
専門研修	3,300,000		3,000,000		300,000		三重県社協より委託費
物品販売収入		261,900		1,026,000		-764,100	
書籍販売収入	261,900		1,026,000		-764,100		介護報酬改定資料集(2,700円×97冊)
手数料収入		432,560		420,640		11,920	
会員管理手数料収入	317,600		310,600		7,000		日本協会事務手数料(正会員200円×1,363人、 賛助会員15,000円×3団体)
広告配布手数料収入	114,960		110,040		4,920		広告配布手数料
④ 受取補助金等							
事業補助金収入		1,586,000		1,915,000			
研修事業補助金収入	450,000		450,000		0		三重県介護サービス提供事業者資質向上事業 補助
スーパーバイザー派遣事業	1,136,000		1,465,000		-329,000		
交付金収入		378,000		368,400		9,600	
日本協会支部交付金	378,000		368,400		9,600		日本協会支部交付金(H29下期300円×119名、 H30上期300円×1,141名)
⑤ 雑収益		38,621		103,522		-64,901	
受取利息	40		32		8		普通預金利子
雑収入	38,581		73,490		-34,909		資料コピー手数料 FAX送信手数料等
受入寄付金			30,000		-30,000		医師会からの祝金
経常収益計		17,977,981		18,173,167		-195,186	

	当期金額		前期金額		増減額		摘要
(2) 経常費用							
① 事業費							
会議費支出		482,428		472,509		9,919	
理事会	167,910		186,050		-18,140		会議費、理事旅費等(5回)
理事・支部長会	140,268		169,359		-29,091		会場費、理事及び支部長旅費(2回)
正副会長会	16,500		3,900				
総務部会	22,220		21,060				
広報部会	36,560		23,960				
研修部会	0		17,900				会場費、理事旅費等(総務部会、研修部会、広報部会)
防災委員会	71,020		31,490				
東海ブロック会議	27,950		18,790				旅費等(1回)
研修事業費支出		1,046,955		905,007		141,948	
会員等研修会	1,046,955		905,007		141,948		会場費、講師旅費、案内状送料、資料作成費用等
助成金支出		899,554		899,955		-401	
地域支部助成金	599,749		599,967		-218		地域支部活動助成金
地域支部研修助成金	299,805		299,988		-183		介護サービス提供事業者資質向上事業補助金
広報活動費支出		262,900		419,119		-156,219	
広報誌発行費	202,180		182,699		19,481		広報誌作成費用(年2回)
ホームページ管理費	60,720		74,420		-162,000		ホームページ更新費、レンタルサーバー費
その他	0		162,000				
書籍購入費支出		197,380		942,732		-745,352	
書籍購入費	197,380		942,732		-745,352		報酬改定テキスト
委託事業支出		0		3,019,347		-3,019,347	
スーパーバイザー派遣事業			1,067,973		-1,067,973		謝金、企画運営費、印刷製本費、通信運搬費等
専門研修			1,951,374		-1,951,374		謝金、旅費、企画運営費、印刷製本費、通信運搬費等
通信運搬費支出	415,516	415,516	569,514	569,514	-153,998	-153,998	ヤマトメール便等
印刷製本費支出	0	0	0	0	0	0	
日本協会費支出		6,547,000		6,374,000		173,000	
入会金支出	142,000		134,000		8,000		1,000円×142名
正会員会費支出	6,345,000		6,150,000		195,000		5,000円×1,269名
賛助会費支出	60,000		90,000		-30,000		30,000円×2団体
旅費交通費支出	226,500	226,500	183,705	183,705	42,795	42,795	会議・研修会等参加 旅費
スーパーバイザー支出	1,355,415	1,355,415	0	0		1,355,415	謝金、旅費、企画運営費、印刷製本費、通信運搬費等
専門研修事業費	2,014,349	2,014,349	0	0		2,014,349	
② 管理費							
給料手当	995,425	995,425	974,530	974,530	20,895	20,895	事務局職員雇上げ費用
通勤手当	0	0	0	0			事務局職員通勤費
福利厚生費	6,482	6,482	14,565	14,565	-8,083	-8,083	労災、雇用保険等
賃借料支出	648,902	648,902	472,687	472,687	176,215	176,215	事務所借上げ費用(光熱水費等込)
通信運搬費支出	206,171	206,171	206,314	206,314	-143	-143	NTT利用料、インターネット利用料等
印刷製本費支出	485,818	485,818	402,437	402,437	83,381	83,381	協会封筒印刷費、プリンタ使用料等
消耗品費支出	99,360	99,360	126,646	126,646	-27,286	-27,286	事務用品代等
旅費交通費支出	440	440	315	315	125	125	事務局職員旅費交通費
手数料支出		175,338		175,284		54	
集金代行基本手数料	127,764		135,432		-7,668		会費引き落とし手数料
振込手数料	47,574		39,852		7,722		
会議費	103,604	103,604	49,209	49,209	54,395		
諸団体関連費支出	10,000	10,000	56,000	56,000	-46,000	-46,000	県社協会費
減価償却費	0	0	0	0	0	0	
顧問報酬費	108,000	108,000	108,000	108,000	0	0	税理士顧問料
雑支出	145,680	145,680	37,575	37,575	108,105	108,105	登記関連費用、会計ソフト保守費用、豪雨災害寄付100,000円
経常費用計		16,433,217		16,409,450		23,767	
II 法人税等							
法人税等、住民税及び事業税	116,900	116,900	124,704	124,704		-7,804	
当期正味財産増減額		1,427,864		1,639,013			
正味財産期首残高		4,453,726		2,814,713			
III 正味財産期末残高		5,881,590		4,453,726			

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
預 金	3,456,329	未払金	341,824
現 金	63,942	前受金	118,000
未収入金	1,609,240	預り金	4,567
前払費用	16,470	負債合計	464,391
固定資産		(純資産の部)	
工具器具備品	249,666	前期繰越収支差額	4,453,726
減価償却累計額	-249,666	当期収支差額	1,427,864
保 証 金	1,200,000	純資産合計	5,881,590
資産合計	6,345,981	負債・純資産合計	6,345,981

財 産 目 録

(2019年3月31日現在)

(単位:円)

借方			貸方		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
預金	百五銀行津駅前支店890756	3,448,329	未払金	研修会会場	2,080
	百五銀行津駅前支店779755	8,000		消耗品費	
現金		63,942	手数料	864	
未収金	研修事業補助金収入	450,000	メール便	176,432	
	スーパーバイザー補助金	1,136,000	法人税等	116,900	
	広告配布手数料	23,240	事務局賃借他	45,548	
	会費収入		会費入会金		
前払費用		16,470	前受金	118,000	
工具器具備品		249,666	預り金	源泉所得税	1,580
減価償却累計額		-249,666		雇用保険料	2,987
保証金	資質向上研修委託契約	1,200,000	純資産		5,881,590
資産合計		6,345,981	負債・純資産合計		6,345,981

監査報告書

2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の三重県介護支援専門員協会会計の決算報告及び会務につき、関係帳簿及び証拠書類により監査を行った。監査の結果、会計処理及び会務の執行は適正であり、いずれも正確であることを認めました。以上報告いたします。

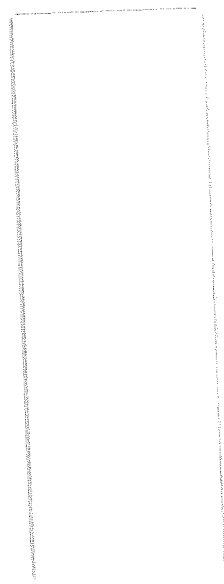
2019年 5月20日

監事

西 勉

監事

川村 智美



2019年度事業計画（案）

1 活動方針

1 （組織としての会員数の拡大）

2019年度末に会費を納入している会員の数を1,200名以上確保する。そのために、引き続き各種研修会、特に現任者が受講する研修の機会を活用して勧誘活動を行う。

2 （協会活動の事業化の推進）

平成26年に法人格を取得したものの、これまで行政からの委託事業を受託することはできなかったが、今年度より、更新時の法定研修において、三重県社会福祉協議会との共同企業体という形で、三重県より研修事業を受託して研修実施機関となった。また、四日市市より、要介護認定の調査業務について委託したいとの依頼があり、受託することになった。両者の委託業務は、全国的にも先進的な取り組みとして注目されることになるとと思われる。これらの事業を着実に進めることにより、協会の存在意義をより強固にして、当協会の定款において定めている、介護支援専門員の社会的地位の向上を図るという目的の推進につなげていく。

3 （研修部会事業）

今年度のような理事の改選年度は、上半期の研修会の開催ができなかったことも以前にはあったが、上半期の研修会については計画をして、すでに案内の周知も行っている。介護支援専門員は多職種協働の要であるということを基礎におき、関係する職能団体との連携により、多職種連携を研修分野においても強化する。また、研修会の参加申込については、現在はFAXを使用しているが、日本協会の研修受講管理システムを委託事業で導入することもあり、インターネットを活用した方法についても前向きに検討をしていく。

4 （広報部会事業）

広報誌・ホームページ・パンフレット等を活用し、当協会ならびに地域支部の存在意義や活動内容を紹介することで会員間の情報共有を行う。さらに新規入会勧誘の取り組みとして、非会員の介護支援専門員に向けてパンフレットを研修会等で配布し、協会の活動内容の周知を図るなどして、より多くの介護支援専門員に有効な広報活動を行なう。

5 （関係機関との連携、及び支部活動の支援）

法定研修の研修実施機関になったことも活かしながら、意見交換会や各種研修会等を通じ、三重県の関係部局及び関係諸団体との連携をさらに深めていく。また、各市町において、いわゆる「ローカルルール」などが生じないように、理事会や理事・支部長会を通して、介護保険制度の各地域の運営の実情を確認していく。各支部間の情報交換も行いながら、必要に応じて、各支部が市町と協議を行うことを支援し、行政及び関係諸団体に県下の介護支援専門員の状況についての理解促進を図る。

6 (協会のPR)

研修会等の様々な機会を通して、当協会に未加入の介護支援専門員にも当協会の存在意義について理解を促し、入会を促進する。なお、当協会に入会することの直接的なメリットとして主任介護支援専門員の資格更新に際しての研修会参加要件や特定事業所加算要件の事例検討等で有利になることも意識してPRを行う。

7 (スーパーバイザー派遣事業)

5年目となる、スーパーバイザー派遣事業(ケアマネジャー総合相談事業)の補助金申請を県に対して行い、昨年同様に継続して事業を行う。

8 (防災への取り組み)

防災委員会設置規程を制定したことも踏まえて、組織的に災害対策への取り組みが進むようにしていく。大規模災害発生時における利用者等への支援のあり方や平時の備え、また、県内外からのケアマネジャー同士の援助のあり方等について、「三層構造」も念頭に置きながら、それぞれの役割等が明確になるよう協議を行う。また、各支部から推薦された災害支援ケアマネジャー等による、支部間の情報共有ができるように配慮する。

2 会議

1 総会

- (1) 定時総会は定款第4章第16条に基づき、年1回の開催とする。
- (2) 臨時総会は定款第4章第16条2に基づき必要に応じ開催する。

2 理事会

- (1) 理事会は定款第6章第33条に基づき年5回以上開催する。
- (2) 理事会は定款第6章第32条(1)～(5)の事項について執行する。

3 正副会長会

正副会長会は会長が召集し定期的を開催する。協議事項は、当協会の運営及び事業計画の執行について検討する。

4 正副会長及び部会担当者会

正副会長及び部会担当者会は会長が召集し、定期的を開催する。協議事項は、各部会の活動等を協議し、事業計画の執行についての具体的方法について検討する。

5 部会

各部会は必要に応じて部会長が召集し、開催する。協議事項は、事業実施上の必要事項について検討する。原則として、担当副会長は参画する。

6 理事・支部長会

理事・支部長会は年2回開催する。理事・支部長会は各支部間の情報交換を行いながら、活動状況の確認、要望や課題等を集約・検討及び県協会と地域支部との連携、その他検討が必要な事項について協議する。

3 研修事業

2019年度も近年の研修実績に基づき月1回、年間で12回以上の研修会の企画・運営を予定する。2019年度は理事改選年度となり、研修部会委員の変更も予定されるため、2019年度も上半期については2018年度に企画された研修会の適切な運営に取

組みながら、下半期からは新たな研修部会委員で企画・運営を行う。これにより理事改選年度の上半期の研修会未実施を予防するとともに、今後も理事及び研修部会委員の改選後の下半期から理事及び研修部会委員の改選前までの2年間の研修会を企画する事を慣例化し、研修会の運営については理事及び研修部会委員の改選後速やかに移行する。

介護支援専門員は多職種協働の要である事を研修会の企画でも認識して、三重県理学療法士会・三重県作業療法士会には以前より共催頂きながら研修会を運営しているが、2017年度より三重県薬剤師会、2018年度に三重県歯科医師会に後援を頂き、講師等を派遣して頂きながら研修会を開催できており、2019年度も同様に他団体に共催・後援を頂いた研修会を継続して、多職種連携を研修分野においても強化する。また、2018年度は介護予防に関する研修会を実施していないため、2019年度の前半に企画・実施する。更に施設介護支援専門員向けの研修会を上半期に2回実施する事で、施設介護支援専門員の会員加入促進を図りたい。尚、前年度申し込み時点で定員超過となった研修会についても2019年度に企画・実施する。

2018年度は台風接近に伴い研修会を1度延期しているが、今後も台風・大雨・降雪を中心とした天災はじめ講師都合による研修会の延期・中止も想定されるため、ホームページを活用して迅速に周知する。2018年度より既に研修会の延期・中止についてはホームページを活用しているが、課題としては研修会受講予定者に周知されていない状況であり、事務局への問い合わせも多い状況であるため、開催が危ぶまれる際をはじめ研修会受講前にはホームページで開催予定状況を確認されるように広報・啓発する。また、研修会の延期・中止については講師との調整も必要であるが、前泊される講師もおられるため、早い段階で判断できるような体制を構築する。

2018年度に受講管理システムの導入については理事会で議案として協議を行っており、今後、議論を加速させ、導入を前向きに検討する。受講管理システムの導入については研修会受講者の受講の記録となるとともに、キャンセル状況等を適宜反映する事で1人でも多くの方に研修会を受講して頂けるようにする。また、研修会の案内ページ・申込フォームを作成する事で、参加申込者の管理の効率化を図りながら、研修会当日の受付作業をスムーズに行い、研修会後の受講者データを分析・把握することにより、今後の研修企画にも活用していく。

介護支援専門員の技能・知識を高める事で要介護者の自立を高めながらも、法令を遵守したケアマネジメントを適切に実施できる介護支援専門員の育成を図る。研修会の運営に関しては、理事の負担も増加しており、今後は研修会の協力員等も検討する。

第1回研修会 2019年 4月27日(土) 13時30分～16時40分

会場：三重県総合文化センター 視聴覚室

テーマ：『職業倫理・法の遵守・個人情報保護』

(ケアマネジャーのベーシック講座【初心者向け】)

講師：福田 雅文 氏 (当協会理事)

第2回研修会 2019年 5月11日(土) 13時30分～16時40分

会場：サン・ワーク津 大研修室

テーマ：『介護予防ケアマネジメント』

(介護予防ケアプランの作成)

講師：倉田 理 氏 (当協会副会長)

第3回研修会 2019年 6月29日(土) 13時30分～16時40分

会場：三重県社会福祉会館 3階講堂

テーマ：『リハビリ用語の基礎知識』

(情報共有・多職種連携のために)

講師：医療法人 松徳会 花の丘病院 リハビリテーション科

理学療法士 木村 圭佑 氏

鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科

作業療法士 山本 泰雄 氏

共催：一般社団法人 三重県理学療法士会・一般社団法人 三重県作業療法士会

第4回研修会 2019年 7月12日(金) 10時00分～16時00分

会場：三重県社会福祉会館 3階講堂

テーマ：『あなたの質は適正ですか?』

(ケアプランから見えた～「あるある」～)

講師：特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会 相談役

合同会社 介護の未来 代表 阿部 充宏 氏

第5回研修会 2019年 7月13日(土) 10時00分～16時00分

会場：三重県社会福祉会館 3階講堂

テーマ：『阿部 充宏 先生の施設ケアマネ研修』

(あなたのケアマネジメントは適正ですか?)

講師：特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会 相談役

合同会社 介護の未来 代表 阿部 充宏 氏

第6回研修会 2019年 8月31日(土) 13時30分～16時40分

会場：サン・ワーク津 大研修室

テーマ：『プログレス記録(SOAPで記録を書くということ)』

(記録に必要な情報収集の視点と方法に焦点をあてて)

講師：四日市看護医療大学 地域看護学 多次 淳一郎 氏

第7回研修会 2019年 9月28日(土) 10時00分～16時00分

会場：三重県社会福祉会館 2階大会議室

テーマ：『施設ケアマネジメント研修会』

講師：山田 剛 氏(当協会理事)

小川 竜司 氏(当協会副会長)

第8回研修会 2019年10月 5日(土) 13時30分～16時40分

会場：三重県社会福祉会館 3階講堂

テーマ：『ケアプラン点検』

講師：公益社団法人 京都府介護支援専門員会

一般財団法人 仁風会 嵯峨野病院 在宅事業部長 川添 チェミ 氏

※第9回以降の研修会(2019年11月以降)は2019年 8月頃までに企画・立案・調整を行い、広報を行う予定となっています。

4 広報事業

今年度も年2回「みえケアマネ通信」を発刊し、当協会の活動内容及び日本介護支援専門員協会の動向、また各支部の会員数ならびに活動紹介や会員紹介記事等、様々の視点から興味を引く紙面づくりを行っていく。同時に発行部数の検討を行い、配布先を他団体等の関係機関にも広め、協会の活動の周知を図る。

ホームページを活用し、時代の変化やニーズに応じられるよう、さらに内容の充実を図っていくとともに、新しい試みとして、ホームページへの有料広告を検討していく。

当協会の研修案内のみならず、各支部のコーナーを有意義に活用し、より多くの情報をリアルタイムに提供していく方法を検討する。会員はもちろんのこと非会員や地域住民にも活動情報を提供できるようにする。

また、三重県介護支援専門員協会としての入会案内をリニューアルし、当協会の周知と入会の促進を図る。

5 総務事業

法定研修の資質向上研修については、三重県、三重県社協と協議を重ねた結果、今年度については、三重県社協と共同企業体（いわゆるジョイントベンチャー「JV」）を組み、共同連帯して事業を実施することになった。当協会は、昨年度まで講師の派遣を行っていた専門研修ⅠとⅡを担当する。このため、共同企業体ではあるものの、法定研修実施機関となる。県から示された仕様書等に従って、研修会の運営が滞りなく実施できるように事業を進めていく。また、さらに、研修内容の質の向上に向けて、厚生労働省が求めているPDCAサイクルを展開できるように、研修記録シートやアンケートの分析を行う。

四日市市から要介護認定調査の業務委託について協力依頼があり、受託することになった。これについては、主に調査員の管理をしていくこととなるが、認定調査業務に支障が生じないように必要な管理業務をしていくこととする。

スーパーバイザー派遣事業（ケアマネジャー総合相談事業）については、4年目にして予算枠を達成することができ、認識を広めることができるようになった。引き続き事業を実施するとともに、今年度は、今までの相談内容を踏まえて、現場のケアマネジャーの効率的な業務に資することができるような「日常業務の標準例（ガイドライン）」の作成についても検討する。

防災に対する活動については、各支部から推薦を受けた災害支援ケアマネジャーに防災委員会のメンバーになっていただき、各支部・地域において、防災に向けた取り組みが進むように支援をしていくこととする。また、支部が災害対策机上訓練を行う場合に講師の派遣等の調整を行うこととする。

6 部会活動

1 研修部会

「3研修事業」に掲げた研修事業を実施するために、具体的な研修内容の決定、会場や講師要請等の諸準備を行う。

2 広報部会「4広報事業」

に掲げた広報事業を実施するために、広報誌の企画作成とホームページの内容検討を行ない必要な情報をより多く提供することを目指す。

3 総務部会

「5総務事業」に掲げた総務事業を実施するために各部会、各支部、行政、関係諸団体と連携を図りながら事業を進める。

第4号議案

2019年度収支予算(案)

	2018年度予算額		2019年度予算額		差異		摘要
I 正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 入会金収入		100,000		100,000		0	
正会員入会金収入	100,000		100,000		0		新規入会(1,000円×100名)
② 受取会費		10,008,000		10,360,000		0	352,000
正会員受取会費	9,928,000		10,270,000		342,000		正会員(8,000円×1,283名+3,000円×2名)
賛助会員受取会費	80,000		90,000		10,000		団体賛助会員(40,000円×2団体+10,000円×1団体)
③ 事業収入							
研修事業収入		1,350,000		1,350,000		0	0
研修会収入	1,350,000		1,350,000		0		研修会(13回)
広告料収入	0				0		
協賛金収入	0				0		
スーパーバイザー派遣事業		1,211,000		1,211,000		0	0
利用事業所負担金	75,000		75,000				3,000円×25事業所
県補助金収入	1,136,000		1,136,000				三重県介護従事者確保事業費補助金
専門研修委託費収入	3,000,000	3,000,000	12,000,000	12,000,000	9,000,000		三重県資質向上研修委託費(JV配分金)
認定調査委託費収入			9,072,000	9,072,000	9,072,000		7,560円×1,200件
物品販売収入		262,000		3,032,640		2,770,640	
書籍販売収入	262,000		3,032,640		2,770,640		専門Ⅰ(4,860円×180)+専門Ⅱ(3,996円×540)
手数料収入		388,200		396,600		8,400	
会員管理手数料収入	278,200		286,600		8,400		日本協会事務手数料(正会員200円×1,283名、賛助会員15,000円×2団体)
広告配布手数料収入	110,000		110,000		0		広告配布手数料
④ 受取補助金等							
事業補助金収入		450,000		450,000		0	
資質向上事業補助金収入	450,000		450,000		0		三重県介護サービス提供事業者資質向上事業補助
日本協会ブロック会議	0				0		
交付金収入		372,300		384,900		12,600	
日本協会支部交付金	372,300		384,900		12,600		日本協会支部交付金(300円×1,283名)
⑤ 雑収益		75,030		10,030		-65,000	
受取利息	30		30		0		普通預金利子
雑収入	75,000		10,000		-65,000		資料コピー手数料 FAX送信手数料 書籍送料手数料等
経常収益計		17,216,530		38,367,170		21,150,640	

	2018年度予算額		2019年度予算額		差異		摘要
(2) 経常費用							
① 事業費							
会議費支出		720,000		835,000		115,000	
理事会	250,000		250,000		0		会場費、理事旅費(5回)
理事・支部長会	200,000		200,000		0		会場費、理事及び支部長旅費(2回)
正副会長会	30,000		40,000		10,000		理事旅費等
東海ブロック会議	20,000		30,000		10,000		東海ブロック会議出席者旅費
総務部会	55,000		60,000		5,000		理事旅費等
広報部会	55,000		60,000		5,000		理事旅費等
研修部会	55,000		60,000		5,000		理事旅費等
防災委員会	55,000		135,000		80,000		委員旅費等
研修事業費支出		900,000		1,300,000		400,000	
会員等研修会	900,000		1,300,000		400,000		会場費、講師謝金・旅費、研修案内封入料等
東海ブロック研修	0				0		
助成金支出		900,000		900,000		0	
地域支部助成金	600,000		600,000		0		地域支部活動助成金
地域支部研修助成金	300,000		300,000		0		介護サービス提供事業者資質向上事業補助金
広告活動費支出		295,000		370,000		75,000	
広報誌発行費	220,000		220,000		0		広報誌作成費用(年2回)
ホームページ管理費	75,000		100,000		25,000		ホームページ更新費、レンタルサーバー費
入会案内パンフレット	0		50,000		50,000		新規入会促進用
書籍購入費支出		220,000		2,582,080		2,362,080	
書籍購入費	220,000		2,582,080		2,362,080		専門Ⅰ(4,104円×180)+専門Ⅱ(3,284円×540)、参考書籍等
スーパーバイザー派遣事業	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	0	0	2人派遣:40,000円×25 旅費3,000円×50人、通信運搬費等
専門研修委託事業	2,000,000	2,000,000	12,000,000	12,000,000	10,000,000	10,000,000	
認定調査員業務委託費			6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	5,000円×1,200件
通信運搬費支出	350,000	350,000	450,000	450,000	100,000	100,000	ヤマトメール便等
印刷製本費支出	0	0	0	0	0	0	
日本協会費支出		6,365,000		6,575,000		210,000	
入会金支出	100,000		100,000		0		1,000円×100名
正会員会費支出	6,205,000		6,415,000		210,000		5,000円×1,283名
賛助会費支出	60,000		60,000		0		30,000円×2団体
旅費交通費支出	200,000	200,000	350,000	350,000	150,000	150,000	日本協会各種会議・研修会、関係機関会議等旅費
② 管理費							
給料手当	1,030,000	1,030,000	1,030,000	1,030,000	0	0	事務局職員雇上り費用
通勤手当	0	0	0	0	0	0	事務局職員通勤手当
福利厚生費	15,000	15,000	15,000	15,000	0	0	労災、雇用保険等
賃貸借支出	470,000	470,000	350,000	350,000	-120,000	-120,000	事務所借上げ費用(光熱水費等込)
通信運搬費支出	250,000	250,000	125,000	125,000	-125,000	-125,000	NTT利用料、インターネット利用料等
印刷製本費支出	410,000	410,000	400,000	400,000	-10,000	-10,000	協会封筒印刷費、プリンタ使用料等
消耗品費支出	250,000	250,000	200,000	200,000	-50,000	-50,000	事務用品代等
旅費交通費支出	3,000	3,000	10,000	10,000	7,000	7,000	事務局職員旅費交通費
手数料支出		200,000		336,000		136,000	
集金代行基本手数料	150,000		150,000		0		会費口座振替手数料
振込手数料	50,000		186,000		136,000		専門研修テキスト振替手数料(200円×630人)、その他振込手数料
諸団体関連費支出	60,000	60,000	10,000	10,000	-50,000	-50,000	県社協会費
会議費	200,000	200,000	150,000	150,000	-50,000	-50,000	総会費
顧問報酬費	108,000	108,000	108,000	108,000	0	0	税理士顧問料
雑支出	150,000	150,000	150,000	150,000	0	0	慶弔費、会計ソフト保守費用等
予備費	500,000	500,000	500,000	500,000	0	0	
経常費用計		17,096,000		36,246,080		19,150,080	
II 法人税等							
法人税等、住民税及び事業税	72,000	72,000	150,000	150,000		78,000	
当期正味財産増減額		48,530		1,971,090		1,922,560	
正味財産期首残高		4,453,726		5,881,590			
III 正味財産期末残高		4,502,256		7,852,680			

予算書 内訳

(運営者)

事業区分: 介護支援専門員資質向上研修事業 至 令和2年3月31日 至 平成 年 月 日

三重県介護支援専門員協会

(単位:千円)

勘定科目	予算(A)	前年度予算(B)	増減(A)-(B)	備考
○事業活動による収支				
受託金収入	0	0	0	
県受託金収入	12,000,000	0	12,000,000	
介護支援専門員資質向上研修事業受託金収入	12,000,000		12,000,000	
その他の収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計(1)	0	0	0	
人件費支出	4,677,000	0	4,677,000	
職員給料支出	4,677,000	0	4,677,000	
賃金支出	4,677,000		4,677,000	事務局員、受付等スタッフ人件費
事業費支出	6,291,000	0	6,291,000	
諸謝金支出	2,769,000	0	2,769,000	
講師等謝金支出	2,769,000		2,769,000	
委員等謝金支出			0	
旅費交通費支出	917,000	0	917,000	
講師等旅費支出	567,000		567,000	
委員等旅費支出	350,000		350,000	
消耗器具備品費支出	259,000	0	259,000	
消耗器具備品費支出	259,000		259,000	
賃借料支出	2,045,000	0	2,045,000	
賃借料支出	2,045,000		2,045,000	総文、日本協会受講管理システム
印刷製本費支出	248,000	0	248,000	
印刷製本費支出	248,000		248,000	
雑支出	53,000	0	53,000	
雑支出	53,000	0	53,000	
事務費支出	1,032,000	0	1,032,000	
事務消耗品費支出	206,000	0	206,000	
事務消耗品費支出	206,000		206,000	
印刷製本費支出	0	0	0	
印刷製本費支出			0	
水道光熱費支出	0	0	0	
水道光熱費支出			0	
通信運搬費支出	150,000	0	150,000	
通信運搬費支出	150,000		150,000	事務局電話使用料1/2
会議費支出	231,000	0	231,000	
会議費支出	231,000		231,000	講師打ち合わせ等
業務委託費支出	0	0	0	
業務委託費支出			0	
手数料支出	31,000	0	31,000	
手数料支出	31,000		31,000	振込手数料等
賃借料支出	113,000	0	113,000	
賃借料支出	113,000	0	113,000	事務局コピー機使用料1/2
土地・建物賃借料支出	250,000	0	250,000	
土地・建物賃借料支出	250,000		250,000	事務局賃借料1/2
租税公課支出	0	0	0	
租税公課支出			0	
雑支出	51,000	0	51,000	
雑支出	51,000	0	51,000	
事業活動支出計(2)	12,000,000	0	12,000,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	
○施設整備等による収支				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
器具及び備品取得支出	0	0	0	
器具及び備品取得支出	0	0	0	
ソフトウェア取得支出	0	0	0	
ソフトウェア取得支出	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
予備費支出(7)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(8)=(3)+(6)-(7)	0	0	0	
			0	
前期末支払資金残高(9)			0	
当期末支払資金残高(8)+(9)	0	0	0	

任期：2019.6.8～2020年度総会まで

	名 前	所属支部	所 属 先
1	高橋 恵美子	桑員	ヒューマン・ケア・ステーションみえ
2	花井 裕子	桑員	ヨナハ在宅ケアセンター
3	三浦 浩実	桑員	いなべ市長寿介護課
4	塩井 崇	三泗	居宅介護支援事業所すこやか
5	中島 英子	三泗	四日市市在宅医療・介護連携センター
6	山田 剛	三泗	介護老人保健施設みえ川村老健
7	小川 竜司	鈴亀	介護老人保健施設鈴の丘
8	眞榮城 紀子	鈴亀	居宅介護支援事業所オレンジ
9	吉村 貴	鈴亀	桜の森白子ホーム
10	久保田 久美	津	ケアサポート おーぷんせさみ
11	倉田 理	津	一般社団法人 三重県介護支援専門員協会
12	藤波 恵子	津	三重県看護協会居宅介護支援事業なでしこ津
13	奥田 隆利	松阪	介護老人保健施設第二嘉祥苑「アコラス」
14	小野 裕之	松阪	大台共生園
15	川上 剛志	松阪	南勢カトリック特別養護老人ホーム
16	高村 聡	松阪	松阪社協 松阪支所居宅介護支援事業所
17	田中 宏樹	松阪	ローマリンド
18	川口 美也香	南勢志摩	白百合園
19	濱口 幸彦	南勢志摩	志摩市介護老人保健施設志摩の里
20	森本 よしみ	南勢志摩	度会町地域包括支援センター
21	中森 直美	伊賀	居宅介護支援事業所おかなみ
22	井谷 礼	紀北	介護センターホープ
23	大橋 一智	紀南	特別養護老人ホーム エイジハウス
監事	川村 智美	松阪	大台町社会福祉協議会 宮川支所
監事	福田 雅文	三泗	菰野町社会福祉協議会
相談役	志田 幸雄	松阪	桜木記念病院